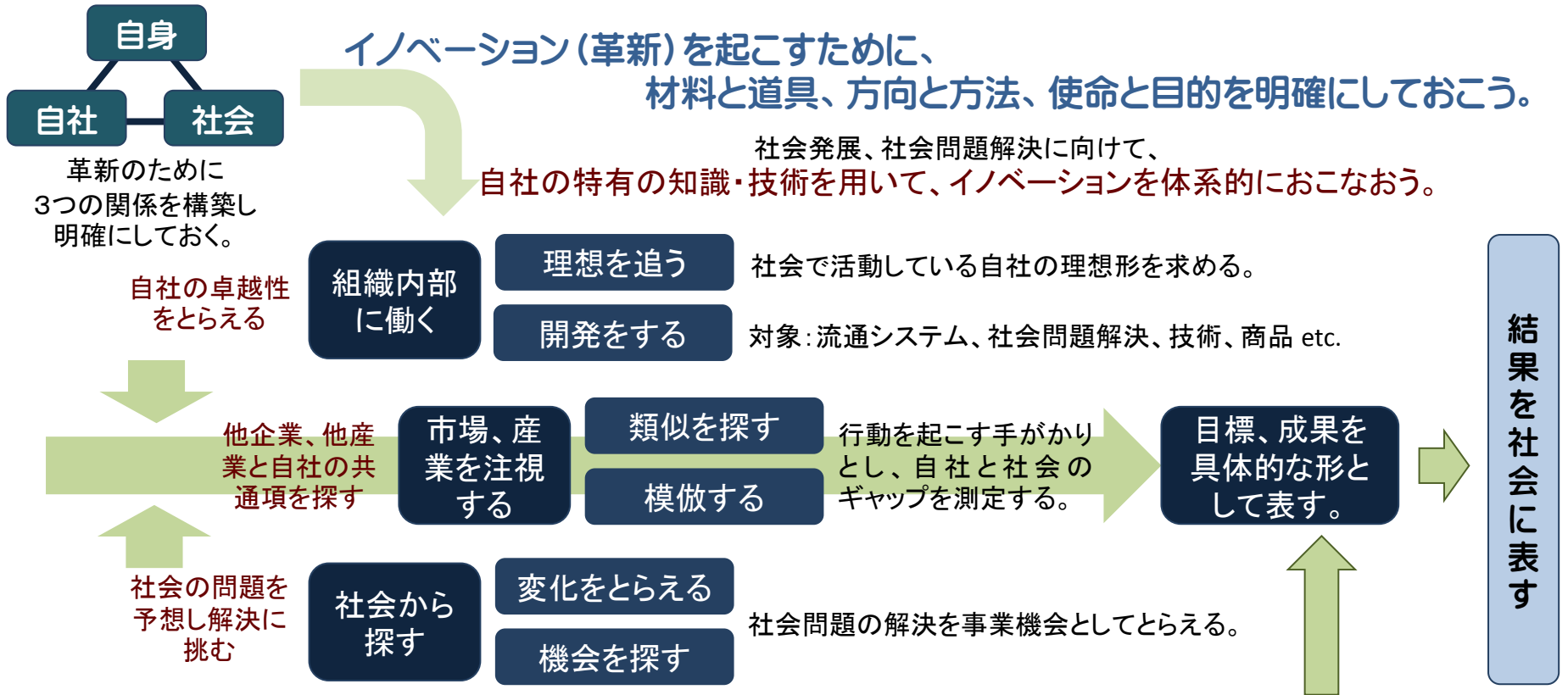


イノベーションを体系的に実施する



革新は改善ではない。改善は現在の状態の延長線上にある。

革新は適応ではない。適応は現状への同調であり、現在での最適化である。

イノベーションのための戦略策定を行う

革新は新たな概念、価値観、行動に基づく。
革新は習慣からの脱出から始まる。

※イノベーションの機会は、ドラッカー著書に「7つの機会」が表されている。ネットで検索すると見つけられる。

業務は役目として果たさねばならない。しかし、業務の枠組を取り払い、全体を視て、発展の可能性を探るのは業務を果たす前提である。現在の業務の成立は、行っている業務から発生したのではなく、全体の状況と自社目的から成立した。